

第123期
報告書

2020年4月 1 日から
2021年3月31日まで



日本甜菜製糖株式会社

証券コード：2108

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表し、お悔み申し上げますとともに、罹患された方々に心よりお見舞い申し上げます。また、医療従事者の方々をはじめ、感染症対策にご尽力されている多くの皆様に深く敬意を表します。

当社グループは新型コロナウイルス感染症の拡大防止と事業継続の観点から、従業員の健康管理を徹底した上で、不要不急の出張等を見合わせるとともに、一部事業所において時差出勤と在宅勤務を実施、役職員の出勤を抑え、感染リスクの低減に努めております。

さて、当社は去る3月31日をもって第123期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)を終了いたしましたので、ここにその事業の概況等をご報告申し上げます。

2021年6月

取締役社長 **惠本 司**

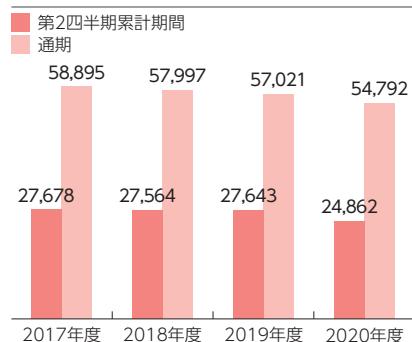


当連結会計年度のわが国経済は、長期に亘る新型コロナウイルス感染症の影響の下、経済活動の抑制が続く厳しい状況にあり、一部持ち直しが見られるものの、加速的な感染再拡大のリスクがあり、依然として先行き不透明な状況となっております。

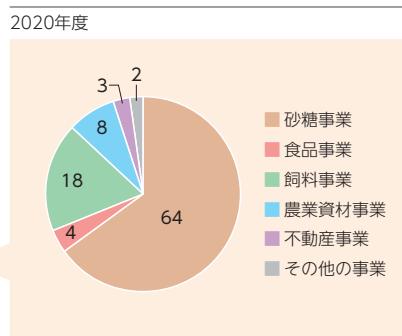
消費者の低甘味嗜好や安価な加糖調製品、異性化糖、高甘味度

人工甘味料の増加等から、これまでも減少傾向にあった国内の砂糖消費量は、新型コロナウイルス感染症の影響によりさらに著しく落ち込み、砂糖業界は大変厳しい状況となっております。2021年3月に農林水産省が公表した「砂糖及び異性化糖の需給見通し」は、2020年10月から2021年9月までの1年間の分蜜糖

売上高 (百万円)



売上高構成比 (%)



経常利益 (百万円)



消費量を174万トンと見込み、前年同時期の消費見込から10万トン減少しております。

当連結会計年度の売上高は、主に砂糖事業の売上の減少により、前期比3.9%減の547億9千2百万円となりましたが、飼料事業の増益に加え、全社的な経費の削減により、経常利益は、前期比12.6%増の23億4千9百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比22.5%増の16億4千2百万円となりました。

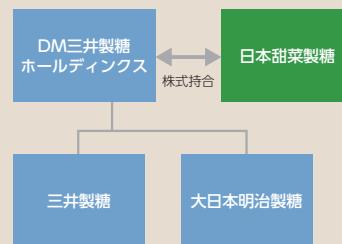
2020年産の原料てん菜による製糖作業は、10月上旬より開始いたしました。昨年の原料てん菜は、生育期間を通じて、概ね、てん菜の生育に適した天候で推移したことから、高品質原料を確保することができました。また、製糖資材使用の抑制を進めるなど高効率な製糖作業に努め、製造コスト削減を図りました。

当社グループの経営環境は砂糖消費の減少に伴う販売の伸び悩みなど、情勢は極めて不透明であります。引き続きコスト削減および適正価格での販売に努め、収益力の確保に取り組むとともに、国内砂糖の消費拡大活動についても取り組んでまいります。

資本業務提携について

本年1月15日開催の取締役会の決議により、三井製糖(株)および大日本明治製糖(株)と資本業務提携契約を締結いたしました。当社は本資本業務提携を通じて、生産原料資源の確保、わが国砂糖産業全体の安定的運営への貢献を図り、三井製糖(株)と大日本明治製糖(株)の持株会社であるDM三井製糖ホールディングス(株)と共に、技術者の交流による生産技術の伝承や向上を果たし、引き続き地域経済に貢献し、わが国砂糖産業の健全な発展に貢献してまいります。

さらに、当社、三井製糖(株)および大日本明治製糖(株)は、各社の持つ得意領域を融合して、国内砂糖事業および研究開発業務を通じた各種付加価値製品群の戦略強化を図り、各社が所有するノウハウや技術力の海外展開によるグローバル化を推進することで、将来のわが国の砂糖産業と各々の企業価値の発展向上を目指します。



(2021年1月15日 撮影 左から三井製糖(株) 森本社長 日本甜菜製糖(株) 恵本社長 大日本明治製糖(株) 佐藤社長)

親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益 (百万円)



純資産/総資産 (百万円)



セグメント別の概況

砂糖事業

事業内容 | ビート糖、精糖、
ビート糖蜜、精糖蜜 等



■ ビート含蜜糖



■ 北海道オホーツク
ビートグラニュー糖

ビート糖は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、白糖、原料糖とも販売量が減少し、売上高についても前期を下回りました。

精糖は、主に業務用の販売量が減少し、売上高についても前期を下回りました。

砂糖事業の売上高は、353億3千9百万円(前期比6.3%減)となり、コスト削減に努めたものの、売上高の減少に加え、在庫増による保管料の上昇から、7億1千6百万円の営業損失(前期は6億1千3百万円の営業損失)となりました。

食品事業

事業内容 | イースト、オリゴ糖等食品素材
(オリゴ糖、ベタイン 等)、
その他食品

イーストは、外出自粛の影響で業務用の需要は落ち込みましたが、一方で、巣ごもり消費により家庭用ドライイーストの需要は増加し、売上高は前期を上回りました。

オリゴ糖等食品素材は、ベタインやオリゴ糖の販売量が減少し、売上高は前期を下回りました。

食品事業の売上高は、22億2千5百万円(前期比2.3%減)となりましたが、製造コストの改善により、2千3百万円の営業利益(前期は7千万円の営業損失)となりました。

<製品紹介>

とかち野酵母®

北海道十勝地方のエゾヤマザクラのサクランボから分離された野生酵母です。食パンから菓子パンまで幅広くご使用いただくことができ、焼きあがったパンは穏やかな香味を有します。酵母臭が少なく、小麦やバター等素材の風味が引き立ちます。北海道十勝産の野生酵母であり原料にこだわる方にお勧めいたします。



飼料事業

事業内容 | 配合飼料、
ビートパルプ 等

配合飼料は、販売努力により、売上高は前期を上回りました。

ビートパルプは、原料でん菜の収量増加に伴う増産により販売量、売上高ともに前期を上回りました。

飼料事業の売上高は、100億2千2百万円(前期比3.2%増)となり、営業利益は11億6千4百万円(前期比25.2%増)となりました。

<製品紹介>

サプラス

糖蜜とアルコールを主原料とする栄養価の高い液状の飼料です。

粗飼料に添加することにより牛の嗜好性が向上します。



農業資材事業

事業内容 | 紙筒(ペーパーポット[®])、農業用機械器具、
農業資材、種子 等

紙筒(移植栽培用育苗鉢)は、ビート用の販売量が減少したものの、そ菜用の販売量増加により、売上高はほぼ前期並となりました。

農業機材は、育苗培土等の販売量が減少したものの、そ菜用移植機材、播種機材ともに販売量が増加し、売上高は前期を上回りました。

農業資材事業の売上高は、45億7百万円(前期比1.3%増)となり、営業利益は4億7千万円(前期比14.6%増)となりました。

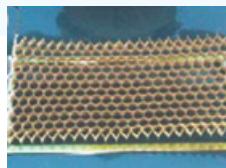
<製品紹介>

CP303

筒径3cm、筒高3cmの紙製の鉢を連結した育苗用資材です。移植作業の省力化に役立つことが評価されています。

一本ネギの栽培に適しており、多くのネギ農家の皆様にご愛用いただいております。

専用の育苗用培土もご用意しております。



不動産事業

事業内容 | 不動産賃貸 等

不動産事業は、売上高、営業利益とも、ほぼ前期並となりました。

不動産事業の売上高は、15億1千万円(前期比1.6%減)となり、営業利益は8億6千6百万円(前期比1.6%増)となりました。

その他の事業

事業内容 | 貨物輸送、石油類販売、
書籍販売、スポーツ施設営業 等

その他の事業は、主にスポーツレジャー施設およびガソリンスタンドの来客者数が減少したことにより、売上高が減少しました。

その他の事業の売上高は、11億8千6百万円(前期比9.6%減)となり、営業利益は7千9百万円(前期比30.3%減)となりました。



■ スズラン企業 帯広西SS
河西郡芽室町東芽室基線31番地

中期経営計画／トピックス／財務諸表

中期経営計画について

当社グループは2021年3月期から3年間の「第1次日甜グループ中期経営計画」を策定し、計画の最終年度となる2023年3月期の経常利益27億円を目標とし、売上高経常利益率4.6%の達成を目指すこととしております。

第1次日甜グループ中期経営計画(2021年3月期～2023年3月期)

- 省力化、効率化、環境・品質対策を通じて、砂糖事業のコスト低減を目指す
- 第2の柱として、食品事業、飼料事業、農業資材事業を成長事業と位置づけ

中期経営計画の1年目となる2021年3月期の事業利益向上は、各事業の計画進捗がほぼ図られた結果となりましたが、一方で、砂糖事業は国内砂糖消費量の急激な減少が砂糖販売に与えた影響が大きく、今後の事業基盤の維持・強化のための課題を残すこととなりました。

中期経営計画の2年目となる2022年3月期は、新型コロナウイルス感染症の影響を期初から受けることとなりますが、引き続き基盤強化と成長戦略の確実な実行を最重要課題として、計画達成を目指します。

(単位:百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	2023年3月期(目標)
売上高	57,021	54,792	58,300
経常利益	2,085	2,349	2,700
当期純利益	1,340	1,642	1,830
売上高経常利益率	3.7%	4.3%	4.6%

トピックス

～パンコンテストをオンラインで開催しました～

北海道内の製パン事業を行う障がい者就労支援事業所を対象とした、「とかち野酵母® de チャレンジドパンコンテスト」をオンラインにて2021年3月11日に開催いたしました。

第2回目となるパンコンテストですが、道内の9事業所から当社製品である「とかち野酵母®」を使用したパンを募集し、料理研究家をはじめとした審査員により各所の自慢のパンを採点し、ナンバーワンを決定しました。結果は、札幌市の「ひかり工房」様が、ローストしたサツマイモとクルミを練り込んだパン「大地の恵み」で優勝となりました。

今後も、「とかち野酵母®」を通して、障がい者の方が自信や生きがいを持って社会参画していただくきっかけ作りの一助となりますよう取り組んでまいります。



財務諸表

連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

	前期末	今期末
	2020年3月末現在	2021年3月末現在
資産の部		
流動資産	47,988	47,714
固定資産	48,417	49,677
有形固定資産	24,355	24,293
無形固定資産	368	344
投資その他の資産	23,693	25,040
資産合計	96,405	97,392
負債及び純資産の部		
流動負債	18,815	18,270
固定負債	10,638	10,660
負債合計	29,454	28,930
純資産合計	66,951	68,462
負債及び純資産合計	96,405	97,392

連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

	前期	当期
	2019/4/1～2020/3/31	2020/4/1～2021/3/31
売上高	57,021	54,792
売上原価	40,996	38,422
販売費及び一般管理費	14,410	14,479
営業利益	1,614	1,889
営業外収益	650	674
営業外費用	179	215
経常利益	2,085	2,349
特別利益	104	5
特別損失	191	49
税金等調整前当期純利益	1,998	2,305
法人税等	657	663
当期純利益	1,340	1,642
親会社株主に帰属する当期純利益	1,340	1,642

会社概要・株式情報 (2021年3月31日現在)

会社概要

商号	にっぽんでんさいせいとうかぶしきかいしゃ 日本甜菜製糖株式会社	
本社所在地	東京都港区三田三丁目12番14号	
設立	1919(大正8)年6月	
資本金	82億7,941万4,800円	
従業員の状況	企業集団の従業員数	747名
	当社の従業員数	609名
	※上記には臨時従業員は含まれておりません。	
子会社	名称	事業内容
	十勝鉄道株式会社	貨物自動車運送業
	スズラン企業株式会社	石油類・書籍販売およびスポーツ施設営業等
	ニッテン商事株式会社	食品卸売業
	サークル機工株式会社	農業用機械器具の製造販売
	土別スズランファーム株式会社	農産物の生産・販売

大株主

株主名	持株数	持株比率
明治ホールディングス株式会社	1,470千株	10.50%
ニッテン共栄会	944	6.74
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	664	4.74
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	553	3.95
株式会社みずほ銀行	515	3.68
農林中央金庫	514	3.68
東京海上日動火災保険株式会社	428	3.06
日本通運株式会社	320	2.29
三菱商事株式会社	265	1.89
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	244	1.74

(注) 1. 当社は、自己株式1,314,072株を所有しておりますが、上記大株主の記載からは除外しております。

2. 持株比率は、自己株式数を控除して算出しております。

3. 三菱商事株式会社は2021年4月6日に、当社株式をDM三井製糖ホールディングス株式会社に譲渡しております。

株式の状況

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	15,325,642株
株主数	12,950名

役員 (2021年6月29日現在)

代表取締役	取締役社長	惠本 司
取締役	専務執行役員	鈴木 良幸
取締役	常務執行役員	八巻 唯史
取締役	常務執行役員	木山 邦樹
取締役	常務執行役員	石栗 秀
取締役	(社外)	浅羽 茂
取締役	(社外)	橋本 秀一
取締役	(社外)	中村 規代実
常勤監査役		藤崎 裕之
常勤監査役		森山 英二
監査役	(社外)	増本 善丈
監査役	(社外)	鏡 高志
上席執行役員		佐渡谷 裕朗
上席執行役員		前田 孝幸
上席執行役員		小島 洋司
上席執行役員		寺澤 秀和
執行役員		田村 雅彦
執行役員		菊池 文夫
執行役員		林 政宏
執行役員		黒氏 信好



株主各位

証券コード2108
2021年6月29日

東京都港区三田三丁目12番14号

日本甜菜製糖株式会社

取締役社長 惠本 司

第123期定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本日開催の当社第123期定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬 具

記

- 報告事項
- 第123期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 - 第123期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)計算書類の内容報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

- 第1号議案 剰余金処分の件
本件は、原案どおり承認可決され、期末配当金は1株につき50円(普通配当50円)と決定いたしました。
- 第2号議案 監査役1名選任の件
本件は、原案どおり承認可決され、鏡 高志氏(新任)が監査役に選任され、就任いたしました。
なお、鏡 高志氏は会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
- 第3号議案 補欠監査役1名選任の件
本件は、原案どおり承認可決され、大井倫太郎氏が補欠監査役に選任されました。

以 上

期末配当金のお支払いについて

- 口座振込をご指定でない方には、「第123期 配当金領収証」および「第123期 配当金計算書」をご送付申し上げます。
期末配当金は、同封の「第123期 配当金領収証」により、払渡期間(2021年6月30日から2021年7月30日まで)内にお近くのゆうちょ銀行全国本支店および出張所ならびに郵便局(銀行代理業者)でお受け取りください。
- 口座振込をご指定の方には、「第123期 配当金計算書」および「配当金振込先ご確認のご案内」を同封しておりますので、ご確認ください。
なお、株式数比例配分方式を選択された方は、配当金のお振込先や確定申告を行う際の添付資料等につきましては、お取引の証券会社等へお問い合わせください。

以 上

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.nitten.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)
上場証券取引所	東京証券取引所
単 元 株 式 数	100株
株主名簿管理人 (特別口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-7111【無通話料】

<株式に関するお問い合わせ先>

当社株式を証券会社等の口座にお預けの場合

→お取引引きの証券会社等にお問い合わせください。

当社株式を証券会社等の口座にお預けでない場合
(特別口座に記録された場合)

→三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。

連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
0120-232-7111【通話料無料】

※未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

※配当金の受取方法については「ゆうちょ領収書払い」以外に銀行または証券会社の口座で受け取る「口座受取り」もご利用できます。

配当金のお振込みに関するご相談は<株式に関するお問い合わせ先>にお問い合わせください。

日本甜菜製糖株式会社

ホームページ <https://www.nitten.co.jp>

